

【エクアドル内政：2016年8月】

1. 内政

(1) キトにおける地震の発生（8月8日23：36発生、マグニチュード4.7）

8月8日夜、キト市を震源とする地震が発生。工科大学地球物理学研究所（IG）発表及び報道ぶりよりまとめた概要は次のとおり。

ア 発生日時：8月8日23：36

イ 震源地及びマグニチュード：キト市中心部より北東に約10キロメートルの地点。深度約7キロメートル。マグニチュードは4.7（IGの地震直後の発表）。

ウ 津波発生：なし。

エ ゆれについて：キト市を含む17の自治体で短い縦ゆれを感じた。同地震により、キト市国際空港周辺地域からキトテニス地区にわたる広域で一時的に停電が発生した。

オ キト市の発表：ロダス・キト市長は、ECU911において、9日01：00過ぎに記者会見を行い、被害状況について発表（その後もテレビ等を通じて追加的な情報を発表。）

「これまでキト市が把握している限りでは、道路や橋梁などインフラに大きな被害は発生していない。（市内よりキト空港に通じる旧街道に位置する）チチェ橋については、さらなる点検のため一時的に通行止めになっている。キト市南部メキシコ地区の市民の家の屋根が落ちたため、市が保有する避難所に入所させた。市民はこの事態に対して、落ち着いて行動してほしい。余震がある可能性もあるので、避難のために緊急グッズを用意しておくことを進める。」

(2) 次期全国選挙に参加可能な政治団体の締め切り

ア 8月18日、次期大統領・国会議員選挙に参加可能な政治団体（政党（Partido Politico）及び政治運動（Movimiento Politico））の登録が締め切られたことを受け、同日付国家選挙審議会（CNE）のプレスリリースにて、右選挙の参加が認可された政治団体に関する発表があった。

① 全国政治団体（Organizaciones Politicas）：16の（全国規模の）政治団体（7の政党（Partidos Politicos (Nacionales), 9の（全国規模の）政治運動（Movimientos Politicos Nacionales））

全国政治団体からは、大統領・副大統領選挙及び国会議員選挙（全国区及び地方区）、2018年に予定される地方選挙の全てに出馬が可能。

なお、Partido Politico（政党）は全国規模の政治団体に限り、県単位以下の政治団体はみなMovimiento Politico（政治運動）となる。

- ② 県単位の政治運動 (Movimientos Politicos Provinciales) : 54 団体
本地方政治団体については, 所属する行政区の中の公職選挙に候補者を擁立出来る。
- ③ 市単位の政治運動 (Movimientos Politicos Cantonales) : 84 団体
- ④ 自治区単位の政治運動 (Movimientos Politicos Parroquiales) : 14 団体
- ⑤ CNEに登録された全政治団体数 : 168 団体

イ 前述16の全国政治団体についての登録番号, 政治団体名(日本語及び西語(CNE発表の登録政治団体一覧の表記を使用し, 右略称についても記載。)は以下のとおり。

なお, 「政治運動 (Movimiento Politico)」についても, 全国政治団体については, その政治団体名の日本語訳は「~党」としている。

- ・登録番号1 : 中道民主党 (Movimiento Centro Democratico Nacional: CDN)
- ・同2 : 国民連合党 (Movimieto Unidad Popular: UP)
- ・同3 : 愛国社会党 (Partido Sociedad Patriotica 21 de enero: PSP)
- ・同5 : フェルサ・コンプロミソ・ソシアル党 (Movimiento F Compromiso Social: FCS) (注: 右「F」は, 新聞報道では「Fuerza」となっている。)
- ・同6 : キリスト教社会党 (Partido Social Cristiano: PSC)
- ・同7 : アデランテ・エクアトリアーノ・アデランテ党 (Partido Adelante Ecuatoriano Adelante: PAEA)
- ・同8 : AVANZA党 (Partido Avanza: Avanza)
- ・同10 : フェルサ・エクアドル党 (Partido Fuerza EC: PFE)
- ・同12 : 左派民主党 (Partido Izquierda Democratica: ID)
- ・同17 : エクアドル社会主義党 (Partido Socialista Ecuatoriano: PSE)
- ・同18 : パチャクティック党 (movimiento de Unidad Plurinacional Pachakutik: Pachakutik)
- ・同19 : ウニオン・エクアトリアーナ党 (Movimiento Union Ecuatoriano: UE)
- ・同21 : CREO党 (Movimiento CREO, Creando Oportunidades: CREO)
- ・同23 : SUMA党 (Movimiento Sociedad Unida Mas Accion: SUMA)
- ・同35 : 国家連盟党 (Movimiento Alianza Pais, Patria Altiva I Soberana: AP) (注: 右「I」は, 新聞報道では「Y」となっている。)
- ・同51 : コンセルタシオン党 (Movimiento Concertacion: Concertacion)

(注: 同登録番号は, 何かしらの順番や優先順位を示すものではない。他方, 同番号は投票時, 各政治団体を検索する際の参考となる。)

(3) タックス・ハイブンに関する国民投票実施に係るコレア大統領の提案

8月2日、憲法裁判所は、タックス・ハイブンに関する国民投票実施に係るコレア大統領の提案（タックス・ハイブンに財又は資産を持つ者の公職の選挙への立候補及び公職への就任の適否を問う国民投票を実施することを提案するもの。右提案は7月14日に憲法裁判所に提出された。）を受け入れ、同提案の合憲性について審議することを発表した。右合憲性が認められた場合、国家選挙審議会（CNE）が、右国民投票を実施に移す手続きについて検討することとなっている。

（４）エクアドルに対する中国の軍事協力

エクアドル政府に対する中国政府の災害関連機材供与及び武器等供与の軍事協力に関する報道ぶりのポイント及びエクアドル国防省プレスリリースの概要は以下のとおり。

ア 報道振りポイント

① 8月15日、ワン・ユリン駐エクアドル中国大使及びリカルド・パティーニョ国防大臣出席の下、920万ドル相当の機材・資材及び軍用武器供与式が行われた。右については、2014年にエクアドルと中国との間で合意された自然災害が発生した際の中国の協力が、2016年4月のエクアドルにおける地震を受けて発効したものである。

② 本支援により、エクアドルに対し計1万丁のアサルト・ライフル「AK47」（いわゆる「カラシニコフ小銃」）が供与され、右はエクアドルの国防力を高めることに資するとパティーニョ国防大臣は述べた。エクアドルにとって、「AK47」の軍隊での使用は初めてあり、これまでは「HK」や「M16」が使用されていた。

③ 2010年から2016年までに両国間において締結された合意及び協定に基づく中国からエクアドルに対する無償軍事協力は2900万ドルに及んでいる。また、2012年から2017年までの間に約270万ドルの支援を行う合意が結ばれている。

④ 本件のような、中国からの軍事協力及び右プロセスについては、一部批判がある。退役軍人の一人は、「AK47」等の武器の供与に係る技術的な検証がなされていないことや（例えば、同ライフルの規格に合う銃弾の生産はエクアドルで行えず、右について今後大量に他国（例えば中国）から輸入する必要性が生まれるのではないかとの疑念）、右供与を受けるための手続きの不透明性について、疑義を呈ししている。

イ 8月15日付エクアドル国防省プレスリリース概要

① 同プレスリリースの見出しは「エクアドルは中国より、地震の影響を緩和し、軍の機能を強化するための物資や機材の供与を受けた。」であり、「パティーニョ国防大臣は、これは中国との10年にわたる非常に良い友好関係によるものであると強調し、これに対して、ユリン中国大使は、エクアドルとの友好関係を強調し、

地震後の悲惨な状況を目にし、影響を緩和するための支援である。」と述べたと掲載している。

② 同920万ドル相当の供与機材の内容として例示されているものは、「テント（300張）、折りたたみ式ベッド（3000）、マットレス（3000）、扇風機（200）、貯水槽（300）、発電機（300）、簡易シャワー（3）、清掃車（3台）、軍事用品」と記載されている。

③ 同プレスリリースの最後では、「本協力は南南協力の利益であり、エクアドルと中国間の戦略的協力の価値であり、国防の分野における二国間関係のレベルの高さを示すものである。」と記述されている。

（5）コリア大統領の自らの次期大統領選挙出馬の可能性の否定

8月20日付メディアは、コリア大統領は、訪問先のエスメラルダスの各メディアに対し、自らの任期が終了したら数年は家族とともにベルギーに滞在する意向を述べたと伝えた。同大統領は、Rafael Contigo Siempre のイニシアティブに感謝しつつ、自身の夫人はベルギー人であり、同夫人の両親との関係でも、ベルギーへの数年の滞在は決定している、旨述べた。同月19日付自身のツイッターでも、同様の主旨の投稿を行っている。

2. 外交

（1）ザリーフ・イラン外務大臣のエクアドル訪問

8月24日、ザリーフ・イラン外務大臣がエクアドルを訪問し、コリア・エクアドル大統領及びロング・エクアドル外務大臣と会談を行い、中央銀行間の協力及び農業分野等における合意を得たところ、右に関する同日付エクアドル外務省プレスリリースの概要は以下のとおり。

ア 8月24日、会談を行った両外相は、次の3つの合意を結んだ。

① 一つ目と二つ目は、エクアドル中央銀行とイラン中央銀行（マルカジ銀行）との間での合意（覚書及び銀行支払いに関する合意の2点）、それらは輸出入者間の支払いを円滑にし、両国間の貿易を促進するものとなるであろう。

ロング・エクアドル外務大臣は、同合意は両国間の通商を大いに助けるものとなるであろうと述べたことに加え、エクアドルからイランへの輸出品に対する関税引き下げへの（イラン側の）政治的意欲があることを述べた。イランの公式発表では、同会談の成果として、エクアドルへの1億ドルの融資がなされることが伝えられ、右はエクアドルにおける地震の被災地復興等、科学・技術分野など様々な面で役に立つであろうとされた。

② 3つ目の合意は、イラン国家植物検疫保護機関（西語：Organizacion para la

Proteccion Fitosanitaria de la Republica Islamica de Iran (ONPF)) とエクアドル農産品品質管理庁 (AGROCALIDAD) で結ばれた覚書であり、右によって、両国間の輸出入にかかる植物衛生規制が定まり、農産品の貿易が促進される見通しである。

イ その他、イランの大学へのエクアドル学部生及び大学院生（特に工学部生）の奨学金留学の拡大についても、本会合の重要な成果の一つである。

ウ 国際場裡での協力に関しては、同日午前に行われたコリア・エクアドル大統領との会談に於いて、両国にとっての関心事項である原油価格の安定のため、OPEC加盟国が共通の立場を形成することの可能性につき話された。

エ ザリーフ・イラン外相は、エクアドル大統領及び外相との会談の成果は官民の両セクターに渡る有意義なものであったことを述べた他、技術、原油の分野においては、OPECにおける対話を継続させるための合意を得る必要性について一致した旨述べた。また、国連による「不公正な制裁に対する」エクアドル国民の支援について謝意を表し、「エクアドル国民とイラン国民は圧力には屈しない」と締めくくった。

(2) アサンジ・ウィキリークス代表の亡命問題

8月10日付エクアドル外務省プレスリリースにて、スウェーデン検察が（在英エクアドル大使館における）アサンジ氏の取り調べを実施することに同意した、との公式発表があった。

(了)